



豊玉二中だより

令和2年度 第13号
発行日 3月25日(木)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

卒業式式辞

桜がほころび始め、春の訪れを感じる、この良き日に練馬区立豊玉第二中学校第59回卒業式を挙げていくことを大変うれしく思います。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私はただ今48名の卒業生の皆さんに卒業証書をお渡しいたしました。振り返ってみればあつという間の3年間だったと思います。

4月、突然の臨時休業、自宅学習、時差登校、数々の行事の中止、部活動禁止の日々、マスクが手放せなくなった毎日。たくさんの制限をしっかり受け止めて頑張ってきた皆さんに卒業の日がやってきました。今日は今までの自分を静かに振り返りつつ、4月からの新しい生活に向かって、決意を固めてほしいと思います。友達と一緒に励まし合い、競い合ってた皆さんの思い出をつくる中学校生活。その最終学年をコロナ禍の中で過ごしたことは本当に残念だったことでしょう。しかし、皆さんはつらい中でも頑張ってきました。運動会は10月に縮小という形ではどうにか実施できましたが、修学旅行、文化発表会が中止になりました。皆さんの気持ちを思うと本当につらい決断でした。しかし、今できる最善の方法を考え、勇気をもって迷わず進まなければならない。このことを教えてくれたのは紛れもない皆さんでした。皆さんは最上級生として、立派に皆の手本となってくれました。本当にありがとう。豊玉第二中学校で育んだ粘り強さを4月からも新しい環境で存分に発揮してほしいと思います。

そこで、皆さんに3つの心構えをはなむけの言葉として贈りたいと思います。

1つめは「感謝」です。周りの人に支えられて生きていると感じられる、また、自分も他を思いやれる温かい人になってほしいと思います。

2つめは「夢」です。自分の人生です。やりたいことを見つけ、それに向かってとことん努力してください。夢や目標がある人生は楽しいです。輝いています。

3つめは「根性」です。皆さんには困難にくじけない強さがあります。今あきらめていいのか、これでいいのかと。簡単にあきらめることなく、もう一度挑戦する根性を持ち続けてほしいと思います。

「感謝」「夢」「根性」の心構えをもってこれからも頑張ってください。

人生には「照りと曇りの日」があります。照りの日は誰もが輝きますが、曇りの日は誰もが苦しみ悩むものです。私は皆さんにお願いしたいことがあります。とりわけ曇りの日に自分を見つめ直してほしいということです。そして、曇りの日こそ、心の中で新たな決意を固められる強さが大切です。そんな、転んでも起き上がり、くじけない強い人になってください。卒業生の皆さんへエールを送ります。「がんばれよ」「負けるなよ」「あきらめるなよ」

結びになりますが、保護者の皆様、本日はお子様のご卒業おめでとうございます。本日の晴れ姿には、感慨ひとしおかと存じます。4月からはお子様方はそれぞれ選んだ道を進みます。その中で、当然一人ひとりの人間としての判断力や行動力、時には責任が問われます。このような一般社会の要求に応えられる青年に成長できますよう皆様方の今後のご指導をお願いいたします。

最後に卒業生の皆さん、私は皆さんが練馬区立豊玉第二中学校の卒業生であることを誇りとし、これからの世界を心豊かにたくましく生き、活力のあるものにするために全力を尽くされることを期待し、式辞といたします。

令和3年3月19日

練馬区立豊玉第二中学校 校長 神山 信次郎

